

第14回アジアEST地域フォーラム

The 14th High-level Regional Environmentally Sustainable Transport Forum in Asia

SDGsとカーボンニュートラルを達成するための次世代交通システム

より安全で、安価で、アクセスしやすく、強靱なアジアのために

(本フォーラムは英日の同時通訳が付きませんが、発表資料は英語のみになります。最新のプログラムについては英語版をご覧ください。)

2021年10月18日

12:00~13:00	受付	
13:00~14:00 合同オープニング セレモニー (Room L3-6)	<p>政府代表挨拶 齊藤鉄夫 国土交通大臣 政府代表挨拶 山口壮 環境大臣 ASCN主催者代表挨拶 リム・ジョクホイASEAN事務総長 EST主催者代表挨拶 国際連合経済社会局 (UN DESA) 劉振民 (リュウ・ジェンミン) 事務次長 国際連合アジア太平洋経済社会委員会 (UN ESCAP) カヴェ・ザヘディ 副事務局長 アジア開発銀行 (ADB) バンバン・スサントノ知識管理・持続的開発担当副総裁 HELP主催者代表挨拶 ハン・スンスHELP議長 開催地代表挨拶 大村 秀章 愛知県知事 来賓の紹介</p>	
15:00-17:00 ESTイベント アジアEST地域 フォーラムのメン バー国による関係級 ステートメント (Room L1)	<p>(参加予定国) 日本、アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボディア、中国、インドネシア、インド、イラン、韓国、ラオス、マレーシア、モルディブ、モンゴル、ミャンマー、ネパール、フィリピン、パキスタン、ロシア、タイ、シンガポール、スリランカ、東ティモール、ベトナム (各国4~5分)</p>	<p>セッション議長： 日本環境省地球環境審議官 正田寛氏 モデレーター： UNCRD環境プログラム コーディネーター チャウドリー・ルドラ・ チャラン・モハンティ氏 書記： カーティン大学 カール ソン・ハーグロブス氏</p>
2021年10月19日		
12:00~13:00	受付	
13:00~14:00 記念講演 (Room L3-6)	<p>【記念講演】 「包摂的かつスマートにグリーンでレジリエントな地域の復興を目指して」 アジア開発銀行 (ADB) バンバン・スサントノ知識管理・持続的開発担当副総裁</p>	
14:00-14:30 EST開会式 (Room L1)	<p>開会の挨拶 第14回アジア地域ESTフォーラム議長 日本環境省 地球環境審議官 正田寛氏 ESTに関する愛知宣言 (2021-2030) の草案の紹介 UNCRD所長 遠藤和重氏 愛知宣言 (2021-2030) の実施状況の追跡 = アジア交通見通し (ATO) とベースライン報告書の役割 アジア開発銀行 運輸部門チーフ ジェイミー・レザー氏 特別講演 気候変動やCOVID-19パンデミックのような健康上の緊急事態に対応した弾力性のある輸送システムの構築 一鉄道の役割 国際鉄道連合 (UIC) 事務局長 フランソワ・ダヴェンヌ氏</p>	<p>セッション議長： 日本環境省地球環境審議官 正田寛氏 モデレーター： UNCRD環境プログラム コーディネーター チャウドリー・ルドラ・ チャラン・モハンティ氏 書記： UNCRD研究員 ガネッシュ・ジョシ氏</p>

14:30-16:00 セッション1: 2050年のネットゼロに向けた運輸部門の脱炭素化(90分) (Room L1)	プレゼンテーション1: 2050年カーボンニュートラルに向けたビジョン 日本環境省水・大気環境局自動車環境対策課 課長 飯田博文氏	セッション議長: インドネシア運輸省ブ ディ・スマディ・カリヤ氏 (調整中) モデレーター: アジア開発銀行(ADB) リソースパーソン コーニー・ホイゼンガ氏 書記: カーティン大学 カールソン・ハーグロヴ ス氏 ベンジャミン・ジェームズ 氏
	プレゼンテーション2: アジアにおける陸上交通の脱炭素化— 政策オプション、制度的取り決め、資金調達オプション、技術的介入 アジアEST地域フォーラム専門家メンバー ホルガー・ダルクマン氏	
	プレゼンテーション3: アジアにおける運輸部門の脱炭素化-健康と社会的正義の確保 トランス・コンサルタンツ社 CEO兼マネージング・ディレクター アロク・ジャイン氏	
	プレゼンテーション4: アジアにおける低炭素交通機関開発のための資金調達オプション 世界銀行南アジア交通局プラクティス・マネージャー ショミック・ラジ・メーンディラッタ氏	
	プレゼンテーション5: カーボンニュートラルの実現に向けたモビリティの活用による地域課題解決の取組について 豊田市 市長 太田稔彦氏	
	パネルディスカッション(45分) Q&A(5分) ・愛知県都市・交通局 都市基盤部部長 竹澤功氏(「持続可能なあいちの都市・交通政策」について発表) その他のパネリストについては英語プログラムをご覧ください。	
16:00-17:30 セッション2: 持続可能な交通ソリューションによるレジリエンスの向上(90分) (Room L1)	プレゼンテーション1: 気候変動にレジリエントな交通—政策オプション 国連環境計画(UNEP) 経済部持続可能なモビリティユニット プログラムオフィサー パート・ファビアン氏	セッション議長: タイ運輸省 運輸・交通政策企画局局長 ブンヤ・チュバニト氏 (タイ運輸大臣の代理) モデレーター: WRIインド エグゼクティブ・ディレクター アミット・バット氏 書記: UNCRD 研究員 ガネッシュ・ジョシ氏
	プレゼンテーション2: 気候変動と災害に強い交通システムとインフラの整備 中部大学卓越教授、ローマクラブ・フルメンバー、前世界交通学会会長 林 良嗣氏	
	プレゼンテーション3: アジアの運輸部門はCOVID-19にどのように対応し、より大きなレジリエンスと新たな機会を獲得するのか カーティン大学 教授 ピーター・ニューマン氏	
	プレゼンテーション4: COVID-19のようなパンデミック時にコミュニティのレジリエンスを高めるためには、アジアの交通部門でどのような大きな変革が必要か 世界保健機関(WHO) 東南アジア地域事務所健康人口・非感染性疾患部 化学物質安全・環境・大気汚染担当地域アドバイザー ウマ・ラジャラスナム氏	
	パネルディスカッション(50分) Q&A(5分) ・中国雄安新区管理委員会雄安新区事務局副所長 Ren Da Zhi 氏 (中国雄安新区に関する発表) その他のパネリストについては英語プログラムをご覧ください。	
17:30-17:45 休憩(15分)		
17:45-19:15 セッション3: 安全性と経済的持続性のための持続可能な交通インフラとサービス(90分) (Room L1)	プレゼンテーション1: 発表1: アジアにおける持続可能な交通インフラ・サービスの実現に向けたJICAのアプローチ 独立行政法人 国際協力機構(JICA) 社会基盤部 運輸交通グループ 次長 小泉幸弘氏	セッション議長: バングラデシュ陸運橋梁大臣 クアデル・オバイドゥル氏 (調整中) モデレーター: Safeteq代表 ジャック・ウィズマンズ 教授 書記: ビジネス環境協議会 政策・研究担当 ディレクター サイモン・ング氏 (調整中)
	プレゼンテーション2: アジア太平洋地域における「国連交通安全のための行動の10年(2021-2030)」の実現に向けて—挑戦と機会 国際連合アジア太平洋経済社会委員会(UN ESCAP) 交通部経済担当官 マダン・B・レグミ氏	
	プレゼンテーション3: 経済的持続性に向けた旅客・貨物輸送インフラとサービスの費用対効果の実現—政策オプションと実現要因の包括的分析 アジア太ESTフォーラム専門家メンバー カールソン・ハーグロヴス氏	
	プレゼンテーション4: 二国間クレジット制度(JCM)-ESTを実現するための先進技術導入の支援 日本環境省水・大気環境局 自動車環境対策課 課長補佐 永森一暢氏	
	パネルディスカッション(45分) Q&A(5分) パネリストについては英語プログラムをご覧ください。	

2021年10月20日

<p>14:00-15:30 セッション4: アクセス性と連結性 - SDGs達成のための中心的役割 (90分) (Room L3-6)</p>	<p>プレゼンテーション1: 地域の連結性ーロシア鉄道の事例 (調整中)</p> <p>プレゼンテーション2: 農場から消費者まで-SDG12.3達成のための効率的な連結性、グリーンサプライチェーン、食品廃棄物や損失防止のための貨物・物流 国連貿易開発会議 (UNCTAD) 交通ロジスティクス部貿易ロジスティクス部交通セクションチーフ フリーダ・ユースフ氏</p> <p>プレゼンテーション3: アジアにおける公営・長距離バスシステムによるアクセス性・連結性の向上ー政府と民間部門の役割 インドバス事業者連盟 会長 プラサナ・パドワラン氏</p> <p>プレゼンテーション4: PMGSY (Prime Minister's Gramya Sadak Yojona) における農村と都市の連結性とアクセス性を通じた農村コミュニティの生活保障の向上 インド農村開発省次官 アシシュ・クマール・ゴエル氏</p> <p>プレゼンテーション5: アジア太平洋地域におけるSDGs推進のための地域連結性 国際連合アジア太平洋経済社会委員会 (UN ESCAP) 交通部交通連結・物流課 課長 アジャール・ジャイムルジーナ氏</p> <p>パネルディスカッション (45分) Q&A (5分) パネリストについては英語プログラムをご覧ください。</p>	<p>セッション議長: モルディブ国家計画・住宅・インフラ副大臣 ファティマス・ニウマ氏 (調整中)</p> <p>モデレーター: バスワールド財団 マネージング・ディレクター ヤン・デマン氏</p> <p>書記: バスワールド財団プログラム・コーディネーター兼 アドバイザー クルワント・シン氏</p>
<p>15:30-16:30 セッション5: ESTに関する愛知宣言 (2021-2030) の実施に向けた援助機関、国際開発金融機関、国連機関、国際機関の声明 (60分) (Room L3-6)</p>	<p>援助機関・国際開発金融機関 (ADB、WB、JICA、GIZ、AIIB、OECD他) 国連機関 (UNDRR、UNEP、UNESCAP、UNECLAC、UNFCCC、UNHabitat、UNIDO、UNPKC、UNCTAD、WFP、WHO他) 国際機関 (バスワールド財団、エコモ財団、ICLEI世界事務局、ITDP、KOTI、Helvetas、SACEP、SLOCAT、UIC、Walk21財団、WRIインド他)</p> <p>Q&A / オープンディスカッション (5分)</p>	<p>セッション議長: モルディブ運輸・民間航空省 副大臣 アーメド・アブドゥル・ガーニー氏 モデレーター: アジア開発銀行 (ADB) 運輸部門 チーフ ジェイミー・レザー氏 書記: カーティン大学 カールソン・ハーグローヴス氏</p>
<p>16:30-19:15 セッション6: 愛知宣言 (2021-2030) の採択と第14回アジアEST地域フォーラムサマリー (Room L3-6)</p>	<p>メンバー国による議論、宣言の採択</p> <p>第14回アジアEST地域フォーラム議長: 日本環境省 地球環境審議官 正田寛氏 セッション議長: 日本環境省 大臣官房審議官 森光敬子氏 ファシリテーター/モデレーター: UNCRD 環境プログラムコーディネーター CRCモハンティ氏 アジア開発銀行 (ADB) リソースパーソン、コーニー・ホイゼンガ氏 書記: UNCRD ガネッシュ・ラジ・ジョシ氏、アジア開発銀行 (ADB) コンサルタント スディール・ゴータ氏</p> <p>(参加予定国) アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボディア、中国、インドネシア、インド、イラン、日本、韓国、ラオス、マレーシア、モルディブ、モンゴル、ミャンマー、ネパール、フィリピン、パキスタン、ロシア、タイ、シンガポール、スリランカ、東ティモール、ベトナム</p>	
<p>19:15-19:30 EST閉会式 (Room L3-6)</p>	<p>お知らせ(予定) 閉会の挨拶: 日本環境省、アジア開発銀行 (ADB)、国際連合アジア太平洋経済社会委員会 (UN ESCAP)、国際連合地域開発センター (UNCRD) /国際連合経済社会局 (UN DESA)</p>	

プログラムは予告なく変更することがあります。